

テーマ トップ研究者の言葉から刺激をもらう

佐藤有理先生(共創工学部文化情報工学科)

研究をするには英語論文を読みますが、研究の楽しさや考え方を知るには研究者個人の視点からの自伝や手記を読むのも良いでしょう。世界第一線の本物の研究者が本気で歩んだストーリーを、学際を標榜している共創工学の名にかけて（!?) いろいろな分野から集めました。読むともっと本気で物事に取り組みたくなるのでは、と期待しています。

書名 / 著者等. (出版社, 刊行年月, シリーズ名)		請求記号	配架場所
学者人生のモデル / ハーバート・A・サイモン著 ; 安西祐一郎, 安西徳子訳. (岩波書店, 1998.1.)		289.3 /Si6	図書館一般図書
"世界は国際的で学際的な科学者を必要とする" 【経営学・認知科学・人工知能】Herbert A. Simon (1916-2001, 1975年チューリング賞, 1978年ノーベル経済学賞) の本格的な自伝。翻訳が安西先生というのも胸熱。			
独創はひらめかない：「素人発想、玄人実行」の法則 / 金出武雄著. (日本経済新聞出版社, 2012.11.)		141.5 /Ka43	図書館一般図書
競争の世界で勝ちきるためにできること 【コンピュータビジョン・ロボット工学】Takeo Kanade (1945-) の切れ味鋭い問題解決術が収められたエッセイ集。			
ディープラーニング学習する機械：ヤン・ルカン、人工知能を語る / Yann LeCun著 ; 小川浩一訳. (講談社, 2021.10.)		548.1 /L49	図書館一般図書
ありそうでなかった血の通った技術史本 【計算機科学・人工知能】Yann LeCun (1960-, 2018年チューリング賞、畳み込みニューラルネットCNNの開発者として知られる) による個人研究史/分野発展史。			
右脳と左脳を見つけた男：認知神経科学の父、脳と人生を語る / マイケル・S・ガザニガ著 ; 小野木明恵訳. (青土社, 2016.3.)		491.3 /G29	図書館一般図書
科学者が孤高な存在だと思ったら大間違い 【認知神経科学】Michael S. Gazzaniga (1939-) による半生の回顧録。心と脳の問題に対して、実に様々な分野の研究者との対話を重視して挑んできたかがわかる。			
アマルティア・セン回顧録 / アマルティア・セン著 ; 東郷えりか訳. 上-下. (勁草書房, 2022.12.)		289.2 /Se56 /1-2	図書館一般図書
"人類に与えられた最高の、最も尊い才能が、特定の人種や国の独占であるはずがない" 【厚生経済学】Amartya Sen (1933-, 1998年ノーベル経済学賞) の本格的な自伝。上はセンを突き動かした同郷の詩人タゴールの言葉。留学の話も印象深い。			
関連資料	ギーターンジャリ / ラビンドラナート・タゴール著 ; 内山眞理子訳. (未知谷, 2019.11.)	929/Ta18	図書館一般図書
行動経済学の逆襲 / リチャード・セイラー著 ; 遠藤真美訳. 上-下 (早川書房, 2019.10. ハヤカワ文庫)		331 /Th1 /1-2	図書館一般図書
大先生たちのすべてが正しいとは限らない… 【行動経済学】Richard Thaler (1945-, 2017年ノーベル経済学賞) による個人研究史/分野発展史。エビデンスを積み上げ主流派と戦い続けた（とはいえコミカル）話。			
植物を考える：ハーバード教授とシロイヌナズナの365日 / ニコラス・ハーバード著 ; 塚谷裕一, 南澤直子訳. (八坂書房, 2009.2.)		471.3 /H32	図書館一般図書
世にも珍しい研究者の日記 【植物遺伝学】Nicholas Harberd (1956-) による研究者の公的・私的日常を描いた日記。飾られていない鬱々とした語り口が印象的。			

ネアンデルタール人は私たちと交配した / スヴァンテ・ペーボ著 ; 野中香方子訳. (文藝春秋, 2015.6.)		469 /P11	図書館一般図書
同じくらい好きな2つの分野、どちらの道か悩んだ末に... 【進化遺伝学】Svante Pääbo (1955-, 2022年ノーベル生理学・医学賞) による一連の古代DNA研究の回顧録。ポピュラーサイエンスとしても面白い。			
精神と物質 : 分子生物学はどこまで生命の謎を解けるか / 立花隆, 利根川進著. (文芸春秋, 1993.10. 文春文庫).		464 /Ta13	図書館一般図書
研究者名言の宝庫、利根川節がうなる 【分子生物学】Susumu Tonegawa (1939-, 1987年ノーベル生理学・医学賞) へのジャーナリスト立花隆によるインタビューで構成されていて、独特の高揚感がある。			
小さな小さなクローディン発見物語 : 若い研究者へ遺すメッセージ / 月田承一郎著. (羊土社, 2006.2.)		289.1 /Ts64	図書館一般図書
涙なしには読めない 【細胞生物学】Shoichiro Thukita (1953-2005) による回顧録。若くして亡くなった月田先生が遺した言葉は、もっとがんばらねばという気持ちにさせてくれる。			
CRISPR (クリスパー) 究極の遺伝子編集技術の発見 / ジェニファー・ダウドナ, サミュエル・スターンバーグ著 ; 櫻井祐子訳. (文藝春秋, 2017.10.)		467 /D89	図書館一般図書
"ものごとをつきとめることの喜び" とその先へ 【生化学】Jennifer Doudna (1964-, 2020年ノーベル化学賞) の回顧録。上のファインマンの名言に表れる真っ直ぐな活動と社会的なELSI議論への参加活動について。			
関連資料	「困ります、ファインマンさん」 / リチャード・P.ファインマン著 ; 大貫昌子訳. (岩波書店, 1988.7.)	289.3 /F23	図書館オープン書庫(一般図書)
野原の奥、科学の先。 : 遠藤守信のクリエイティブ・スピリッツ / 遠藤守信著. (文屋, 2004.7. 文屋文庫, 第4巻.)		404 /E59	図書館一般図書
"Never, never, never, never, and never give up!" 【ナノ材料工学】Morinobu Endo (1946-, カーボンナノチューブの開発で知られる) による自伝的内容の本。高校での講演がもとになっていることもあり、啓発的。			
好きなことに、バカになる / 細野秀雄著. (サンマーク出版, 2010.3.)		501 /H95	図書館一般図書
"all or something" であがく 【無機材料工学】Hideo Hosono (1953-, セメント金属や鉄系超伝導の研究で知られる) の研究エッセイ。逆説的な言い方が少し目立つが説得力のあるメッセージが並ぶ。			